

第 78 回パチンコ景気動向指数(DI)調査結果【簡易版】

※DI 調査結果 簡易版をダウンロードいただき誠にありがとうございます。事業規模別の業況、経営上の課題、自由回答など詳細結果は、「Aclub 個人会員」(登録無料)ページにて期間限定でダウンロードいただけます。ホームページ <https://www.eb-i.jp/>の Aclub ログイン(個人)からご利用ください。未登録の方は、ぜひこの機会にご登録をお願いいたします。

■資本投資機運は遊技機、設備ともにプラスに転じる






















「全般的業況」は▲13.0ポイント(前回比7.0良化)まで回復したが、3カ月後は▲33.3ポイントと大幅に悪化する見通しである。

「稼働状況」は、パチンコ▲45.5ポイント(前回比3.6悪化)、パチスロ▲16.9ポイント(前回比13.2悪化)となった。3カ月後の稼働状況の見通しは、パチンコ▲50.5ポイント、パチスロ▲26.5ポイントとなっている。






「資本投資気運(遊技機)」は8.9ポイント(前回比25.6良化)とプラスに転じ、3カ月後は19.4ポイントまで回復する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」も1.2ポイント(前回比5.8良化)とプラスに転じ、3カ月後は15.2ポイントまで回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は、前回の▲35.5ポイントから▲44.2ポイントまで悪化、3カ月後は▲48.2ポイントまで悪化する見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

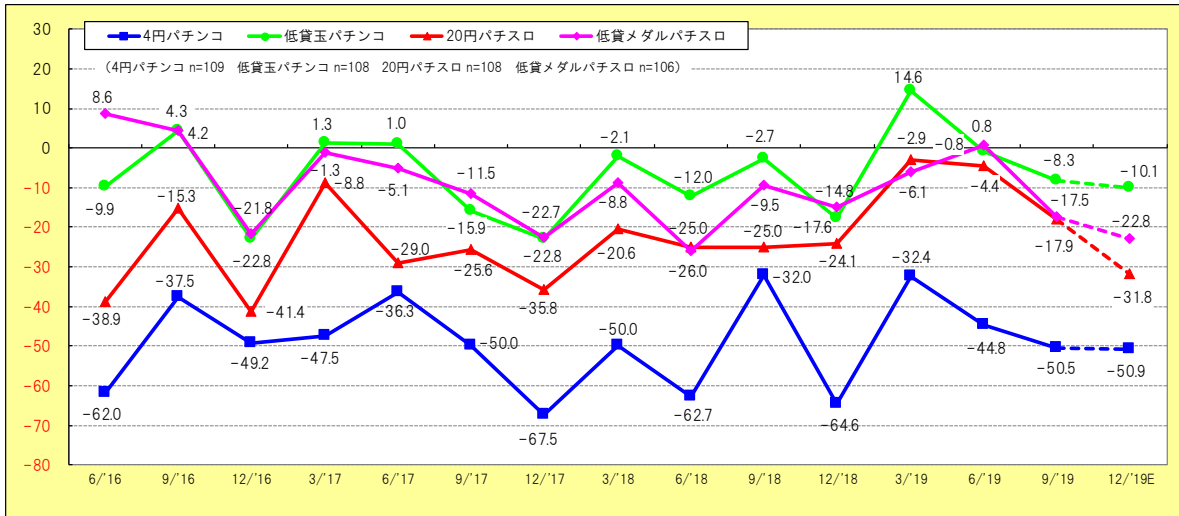
項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 -20.0	 -13.0	 -33.3	現状は引き続き雨 見通しは雷雨に悪化
2. 稼働状況 (パチンコ)	 -41.9	 -45.5	 -50.5	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼働状況 (パチスロ)	 -3.7	 -16.9	 -26.5	現状は雨に悪化 見通しも引き続き雨
4. 資本投資気運 (遊技機)	 -16.7	 8.9	 19.4	現状は曇りに良化 見通しは薄曇りに良化
5. 資本投資気運 (その他設備)	 -4.6	 1.2	 15.2	現状は引き続き曇り 見通しは薄曇りに良化
6. 不足感 (営業用設備)	 -15.0	 -10.7	 -19.3	現状は引き続き雨 見通しも引き続き雨
7. 不足感 (雇用人員)	 -35.5	 -44.2	 -48.2	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

稼働状況(事業者全体) 注:2019年12月期(12/19E)の数値は見直し

■稼働状況(遊技料金別):すべての遊技料金で悪化



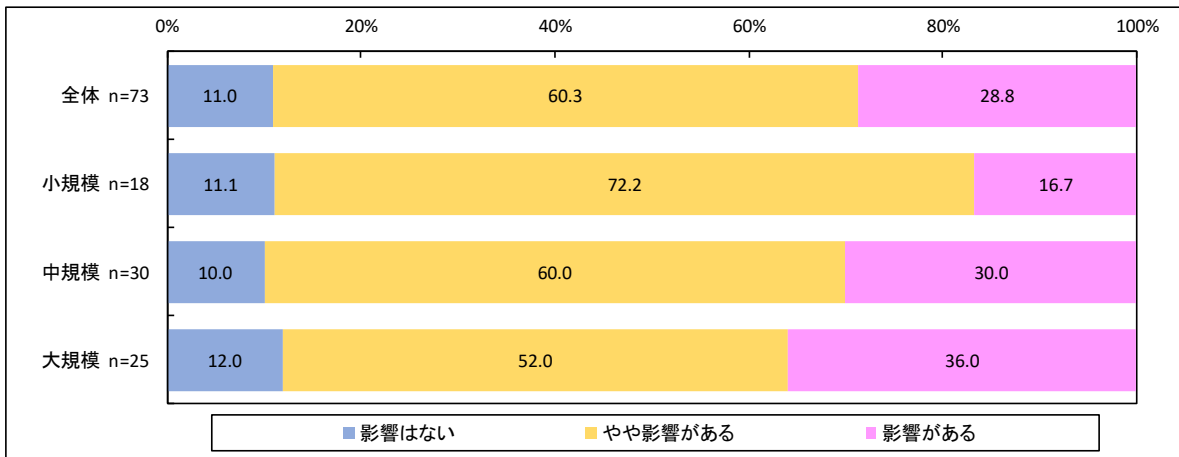
遊技料金別の稼働状況について、すべての遊技料金で悪化が見られた。

通常貸し遊技料金において、4円パチンコの稼働状況は▲50.5ポイント(前回比5.7悪化)まで悪化、3カ月後は▲50.8ポイントと概ね現状維持となる見通しである。20円パチスロは▲17.9ポイント(前回比▲13.5悪化)まで悪化、3カ月後は▲31.8ポイントまで悪化する見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲8.3ポイント(前回比7.5悪化)、低貸メダルパチスロは▲17.5ポイント(前回比18.3悪化)となった。3カ月後の見通しについて、低貸玉パチンコは▲10.1ポイントと概ね現状維持、低貸メダルパチスロは▲22.8ポイントまで落ち込む見通しである。

トレンド・ウォッチ「みなし機撤去の影響」について

■2019年消費増税の影響:「影響はない」が1割程度、影響は規模に比例



下図は2019年10月に消費税が増税された際の影響について質問した結果である。

2019年10月に増税がされた場合の影響について「やや影響がある」(60.3%)と考えている割合が最も高く、「影響がある」(28.8%)と合わせると9割近い結果となった。「影響はない」が1割程度で、事業規模別で大きな差はないが、「影響がある」は事業規模が大きいほど回答割合が高い傾向がある。

2014年と比べて中・小規模の事業者では2019年の消費増税のほうが「影響がある」と考えている割合が高いものの、大規模事業者ではその割合が低くなっている。



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階

Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp



パチンコ業界のマーケティング

株式会社シーズ

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F

Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 Web:www.sees.co.jp

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

Copyright© 2019 Entertainment Business Institute, SEES Inc. All rights reserved.